

## 受賞業績の概要 ～日本音響学会総会資料より

○ (株)アルカディア

「音声波形分析・編集ソフトウェア “AcousticCore”」  
天白成一(アルカディア)

業績概要：

音声・音響要素技術開発に特化したベンチャー企業である株式会社アルカディアが開発・販売しているソフトウェア「AcousticCore」は、音声データの作成、編集、分析などの各処理を Windows, Mac OS X で実現した音声波形分析・編集ソフトウェアで、1998年にリリース以来現在に至るまで、国内の音声・音響研究者の研究現場において活用されるだけでなく、官民を問わず多くの大規模な音声言語データベースを構築する際のツールとして、大きく貢献してきており、2004年から2006年の3年間で129本の販売実績を誇っている。

とりわけ、2005年にリリースされた「AcousticCore ST (言語聴覚士パッケージ)」は、近年医学的、社会的にもその重要性が指摘されている音声・言語に関わるリハビリテーション分野に活用できるソフトウェアとして、音声障害・構音障害の診断等の現場で大変高い評価を受けており、その採用現場は、耳鼻咽喉科、歯科にも拡がりつつある。

特筆すべき点は、優れたユーザーインターフェースを実装することにより、初めて使うひとでも殆どマニュアルを見ることなく使用することができるため、医療・リハビリテーションなど社会的に意義のある分野の音響工学の非専門家にも普及し、利用が拡大していることである。

日本音響学会のプレゼンスをより一層高める製品であり、開発以来ほぼ毎年のようにバージョンアップを継続している企業姿勢に対しても今後の期待は大きく、日本音響学会技術開発賞に相応しいものと判断する。